

アラスカ・カナダ ドライブ旅行記



著者 山家多喜男

アラスカ・カナダ ドライブ旅行記

…目 次…

I.	はじめに	… 3
II.	日程表、地図	… 4
III.	旅日誌	… 9
IV.	話題いろいろ	… 23
	1) 自然・景観	
	2) 自然現象	
	3) 動物、植物	
	4) 国境、都市・町	
	5) 車、道路、RVパーク	
	6) 食事、食材	
	7) 人さまざま	
V.	終わりに	… 38
VI.	資料集	… 39
	写真集	… 42
	ビデオ	… 45

I. はじめに

事の始まりは、今から40数年前の四日市市・大協和寮の頃でした。昭和38年頃、興銀系の協和発酵と大協石油が、四日市市に石油コンビナートを建設することになり、各地から集まった単身者や独身者が大協和寮で生活していました。私は大阪・堺から転勤し、N氏は東京で採用され工場建設にいられていました。二人とも山好きで、日夜懇親を深めていましたが、ある時「自動車の冒険」という雑誌に、アラスカハイウエーを疾走する自動車の写真を見つけて、一度このようなドライブ旅行をしてみたいなあ・・ということになりました。

私はその後ドライブ旅行に熱中し、職場の仲間と日本国中を北に南に走り回っていました。結婚後はマイカーもライトバン、ミニバン等を使い継ぎ、車の中で寝泊りしながら家族で(大半は家内だけ)、気ままな旅を楽しんでいました。定年後に第二の職場でご奉公していた頃より、N氏からそろそろアラスカ行きを考えようと催促があり、仕事の関係で保留していましたが、お互いの年齢も考えて、昨年夏頃に今年夏決行を決心しました。

年明けから再三打合せを行い、参加者4名とコース・日程表等を確定しました。予定は8月中旬から9月中旬の約1ヵ月間で、シアトル発着でアラスカまでフェリーで北上し、カナダ西部を南下することにし、週一回しか運航しないフェリーの予約を取った。当初はミニバンで走行する予定でしたが、在米の知人S氏に相談したところ、このコースでは、途中の施設(ガソリンスタンドや、ホテル・レストラン等)が少ないので、万一の事を考えてモーターホームの利用を勧められました。

モーターホームの利用は初めてのことなので、インターネットでいろいろと検索して、レンタル先をアメリカで実績のあるトラベルデポ社にし、当方の日程表を開示して調整しました。その結果、車種はC-25クラスに決定しましたが、シアトルではレンタカーを確保できないので、カナダのバンクーバーを基点とすることにしました。

モーターホーム(C-25)は4トン車程の大きさで、ベット・キッチン・トイレ・シャワー等が完備し、RVパークに駐車すれば簡易ホテル並の居住性はあるが、機動性・燃費性等は劣るため走行距離の配分や、宿泊場所等を見直すこととしました。

また、旅行中の家族との連絡や情報収集等のため、携帯パソコンEeePCを購入し、グーグルのメールアドレスも取得しました。別に国際電話にも通じると言われている携帯電話2台も持参しました。

以上の経過により、今回のアラスカ・カナダ ドライブ旅行を実施しました。

Ⅱ. 日程表

日数	月/日	曜	時刻	区間 km	実走 km	場 所	実 施 内 容
	8/21	木	11:10			四日市市(発)	出発
			15:45			中部国際空港(発)	UA830
1	8/21	THU	10:45			San Francisco 国際空港(発)	UA1116
			12:57			Vancouver 国際空港(着)	現地ガイド出迎え
			14:30		88145	Delta(Cruise America)(着)	モーターホーム貸出、試運転等
			18:15	40	88188	Vancouver(Capilano RV)(着)	RV 手続、電気、給・排水作業確認
			19:15			Vancouver 市内	夕食(サーモンハウス・オンザヒル)
2	8/22	FRI	9:15			Capilano(発)	PPG補充、給油
			10:55		88270	White Rock(着)	国境到着(カナダ→アメリカ)
			13:50	100	88318	Bellingham(着)	アラスカマリナーハイウェイ乗船手続、
			18:30			Bellingham(発)	インサイドパッセージ
3	8/23	SAT	===				バンクーバー島通過
4	8/24	SUN	8:45			Kechikan	一時上陸
			16:00			Wrangell	一時上陸
			20:00			Petersburg	寄港
5	8/25	MON	5:15			Juneau	一時上陸
			11:45			Haines(着)	上陸
			13:00	5	88326	Haines(Oceanside RV)(着)	市内散策
6	8/26	TUS	7:45			Oceanside(発)	ハインズ HWY
			9:00	20		Klukwan	国境通過(アメリカ→カナダ)
			10:15			Yukon	クルアニ国立公園
			12:10	200		Haines JCT	アラスカ HWY
			15:50	100	88675	Burwash Landing (RV)(着)	クルアニ湖畔
7	8/27	WED	7:40			Burwash Landing(発)	アラスカ HWY
			11:20	200		Beaver Creek	国境到着(カナダ→アメリカ・アラスカ)
			13:45	150	89025	Tok(RV)(着)	
8	8/28	THU	7:55			Tok(発)	トクカットオフ HWY
			10:40	180		Gakona	
			11:10	40		Glennallen	リチャードソン(S)HWY
			13:00			Copper Center	ランゲル・セント・エライアス国立公園
			15:00	200	89461	Valdez (Eagle's Rest RV)(着)	
9	8/29	FRI	11:05			Eagle's Rest(発)	
			12=17			Prince William Sound	コロンビア氷河クルーズ
			18:00			Eagle's Rest RV(着)	
10	8/30	SAT	7:45			Eagle's Rest(発)	リチャードソン(S)HWY
			10:30			Copper Center	ビジターセンター再訪

			11:50	200		Glennallen	グレン HWY
			14:20	150	89780	Matanuska (Grand View RV) (着)	
11	8/31	SUN	9==12	180		Musk OX Farm (発)	グレン HWY 往復
			13==16	10		Matanuska Glacier	マタヌスカ氷河ハイキング
			17:30	10	89980	Grand View RV (着)	
12	9/1	MON	7:35			Grand View (発)	グレン HWY
			9:30	80		Musk OX Farm	ムスクオックス・ファーム見物
			10:30	20		Palmer	ジョージパークス HWY
			12:00	100		Sheep Creek Lodge	
			16:20			Denali Na't Park	シャトルバス予約
			17:00	200	90461	Riley Creek (Denali Rainbow RV) (着)	
13	9/2	TUS	7:00			Denali Rainbow (発)	
			8==17			Denali Na't Park	アイルソンセンター往復
			18:00			Denali Rainbow RV (着)	
14	9/3	WED	8:05			Denali Rainbow (発)	ジョージパークス HWY
			11==13	200		Fairbanks	
			15:00	100	90756	Chena Hot Springs Resort (着)	ロッジ宿泊、露天風呂入浴
15	9/4	THU	8:20			Chena Hot Springs Resort (発)	
			9:20	100		Fairbanks	リチャードソン(N)HWY
			10:00			North Pole	クリスマスハウス
			12:25	130		Delta Junction	
			15:00	150	91185	Tok (RV) (着)	
16	9/5	FRI	7:00			Tok (発)	
			7:15			Tetlin JCT	テラーHWY
			8:45	130		Chicken	
			11:40	50		Bundely	トップオブ・ザワールド HWY
			12:00				国境通過(アメリカ・アラスカ→カナダ)
			13:30	120		Dawson City	ユーコン川フェリー、クロンダイク HWY
			17:00	180	91664	Stewart Crossing (RV) (着)	オーロラ観察
17	9/6	SAT	7:10			Stewart Crossing (発)	クロンダイク HWY
			9:20	180		Carmacks	
			11:20	180		White Horse	
			13:30	200		Teslin	
			17:00	250	92465	Watson Lake (Down town RV) (着)	
18	9/7	SUN	6:55			Down town (発)	クロンダイク HWY
			9:25	200		Liard Hot Springs	朝風呂
			13:05	200		Watson Lake	カッシャーHWY
			17:00	250	93136	Dease Lake (RV) (着)	
19	9/8	MON	7:20			Dease Lake (発)	
			10:55	240		Bell II Loage	

			12:10	95		Meziadin JCT	
			13:10	30		Bear Glacier	ベアー氷河見物
			16:20	190	93678	Kitwanga (Cassiar RV) (着)	
20	9/9	TUS	7:30			Cassiar (発)	イエローヘッド HWY
			9==10			X'san	先住民歴史村見物
			11:15	130		Smithers	
			13:00	120		Burns Lake	
			16:00	150		Vanderhoof	
			17:50	100	94230	Prince Geoge (Biue Spruce RV) (着)	
21	9/10	WED	8:00			Biue Spruce (発)	イエローヘッド HWY
			10:15	200		McBrige	
			12:45			Jasper	
			14==15			Tramway	ウイスラーズ山頂
			16==18			Jasper	市内散策
			19:00	180	94642	Jasper (Nat'l Park Camp) (着)	
22	9/11	THU	7:30			Jasper Nat'l Park (発)	アイスフィールド PWY
			8==9	30		Athabasca、Sunwapta	アサバスカ・サンワプタ滝見物
			10==12	50		Columbia Icefield	コロンビア大氷原見物
			13:00	30		Saskatchewan Crossing	
			14==15			Bow Lake、Payto Lake	ボウ峠ハイキング
			15:00	50	94896	Lake Louise (Nat'l Park Camp) (着)	
23	9/12	FRI	7:15			Lake Louise Nat'l Park Camp (発)	アイスフィールド PWY
			8==10	50		Moraine Lake、Lake Louise	モレーン・ルイーズ湖見物
			11==13	50		Banff	温泉入浴、市内散策
			16:00	50	95059	Lake Louise Nat'l Park Camp (着)	
24	9/13	SAT	7:05			Lake Louise Nat'l Park (発)	トランスカナダ HWY
			8==9	50		Takakkaw	タカカウ滝見物
			12:05	170		Revelstoke	
			15:35	200	95525	Kamloops (RV) (着)	
25	9/14	SUN	8:00			Kamloops (発)	
			9:00	80		Merritt	
			10:15	63		Spences Bridge	
			11:00	48		Cache Creek	
			12:30	86		Lilloet	
			15:25	131	95933	Whistler (Riverside RV) (着)	
26	9/15	MON	8:10			Riverside RV (発)	
			8:30			Green Lake	
			9:10			Whistler Visiter Center	
			10==11			Whistler Mt.	
			11==13			Harmony Ridge Trail	

			14:30			Whistler	
			16:20			Riverside RV (着)	
27	9/16	TUS	8:45			Riverside (発)	
			10:40	58		Squamish	
			11:05	50	96099	Vancouver (Capilano RV) (着)	
28	9/17	WED	9:00			Capilano (発)	
			10==11			Vancouver Aquarium	水族館見物
			12==15			Vancouver	市内散策
			16:00			Capilano RV (着)	
29	9/18	THU	8:30			Capilano (発)	
			10:00	50	96148	Delta	モーターホーム返却
			11:30			Quality Hotel Airport (South) (着)	15:00 チェックイン
30	9/19	FRI	3:30			Quality Hotel Airport (South) (発)	
			6:00			Vancouver 国際空港 (発)	
			8:15			San Francisco 国際空港 (着)	
31	9/20	土	14:10			中部国際空港 (着)	
			18:00			四日市市 (着)	



Bell's Travel Guides

ALASKA

● Town
● City
— Main Road
— Secondary Road

Miles: 0 100 200 300
 Kilometres: 0 100 200 300

Copyright © 2007 by Bell's Travel Guides
All rights reserved.

line at

Province/Territory	Seaward	Stagway	Solovine	Tok	Yukon	Whitehorse
11	128	833	148	328	304	722
15	2284	1522	2304	1828	2082	1432
18	641	442	883	187	440	331
25	1735	974	1757	1281	1834	887
27	485	611	487	105	286	600
31	541	890	888	111	111	111

Ⅲ. 旅日誌

日時	実走 km	地名、項目	実施内容、感想等	備考
8月21日				日本時間
10:30		四日市市	三交バス生桑車庫より乗車	
12:25		中部国際空港・到着	昼食、最近は空港見物の観光客が少なくなっている。	
13:00		中部国際空港	ユナイテッド航空カウンターで搭乗券を受取りに並んでいたら、別に。	事前にネットで手続
			ネット申込みコーナーがあり、容易に手続が完了。	
			出国手続はスムーズに完了。	
15:45		中部国際空港・出発	UA830 21AUG 08 NGO エコノミー席	全日空との共同便
			機内食2回、機内ビデオは中国語スーパーばかり	
8月21日				アメリカ西海岸時間
9:20		サンフランシスコ空港・到着	機内で入国書類(グリーンシート)の配布がなく、その場で書かされ	日本との時差(15時間)
			記入不備などもあり、アメリカ入国手続で四苦八苦する。	審査は厳しい
			アメリカ出国はスムーズ	
11:00		サンフランシスコ空港・出発	UA1118 に乗換え	
13:00		バンクーバー空港・到着	カナダ入国手続は書類不備もあったが、親切に対応してくれた。	
13:45		空港ロビー	現地ガイド打越氏が出迎え	
14:00		空港出発	ガイドのミニバンでモーターホーム・レンタル会社へ	
14:30		レンタル会社到着	クルーズアメリカ社の派手なデザインのモータホームが並んでいた。	
			受付(事前に予約・入金のためスムーズ)、国際免許証提示	車番号 480-ALH
			追加金(保証金\$500,他\$88)をカードで支払う。	
			ビデオ説明、実地確認、試運転(構内)等を行う。	かなり簡略化
17:30	88,145	レンタル会社出発	ガイドが先導し、私が初運転でバンクーバー市中心街を走行する。	少し緊張
			途中、日本食スーパー・ふじやに立ち寄る(米、調味料等購入)	
18:15	88,188	カピラノRV到着	受付(事前予約のためスムーズ)	ガイド立会い
19:20		夕食	レストラン(サーモンハウス・オンザヒル)でサーモンステーキ会食	ガイドも招待
21:30			談話室で無線LANが通じる、メールで無事到着の第一報を送る。	
8月22日				
7:00		朝食	カフェ(ホワイトスポット)で朝食、テレビで男子400m決勝のシーンあり、	
			ジャマイカと共に日本チームが映る。カナダは親日的と思っていた。	銅メダルは後で知る
8:00		車両点検	車両点検(電源、給・排水、プロパン補給)	
9:15		カピラノ発	A班担当でスタート。	私が運転、N氏ナビ
10:55	88,270	国境着	カナダ→アメリカ、圧倒的にアメリカ入国(帰国?)が多い。	
12:40		国境通過	大渋滞で2時間近く掛かるが、審査はスムーズに終わる。	
13:50	88,318	ベリングハム着	少し遠回りしたが、アラスカマリーナハイウエイ乗場付近に到着。	

			事前予約で支払済みのため、スムーズに乗船券を受け取る。	
			昼食にクリームチャウダーを食べたが、その塩辛さに一口で残す。	
15:00		フェリー乗場	乗船待ちが延々2時間半となったが、皆さんのんびりしたものだ。	
17:40		乗船開始	コロンビア号の乗船が始まったが、遠くまで行く我々が最後尾となる。	
			途中呼び出しがあり、遅れた車両と入れ替えさせられる。	
18:30		出航	4人用キャビン(2段ベット、シャワー、トイレ付)に落ち着く。	
			船尾甲板にはテントが6張程あり、若い男女がくつろいでいた。	
			我々もテントを持参したが、天気が悪かったので張らなかつた。	
19:30		コイン騒動	クリーニングに25¢コインが18枚必要なため、夕食のメニューで	両替は断られる
			つり銭が25¢コインの品を注文し、全員でかき集めた。	嫌いな物も食べた。
8月23日				
8:40		ハプニング	逃亡者発生のアナウンス?警備艇2隻で追跡(訓練?..)	フェリー船一時停止
11:00		バンクーバー島通過	内海を航行中は波は静かだったが、外洋に出ると波高く、うねり多し。	
14:00		クジラとの遭遇	船に接近して潮吹くもの、群れで移動するもの。	私は見ていない!
15:45		ベラベラ村	初めての村落?ベラベラを通過する。	左側の窓から見て
18:00		滝の連続	フィヨルドの両岸から壮大な滝が連続・高さ200m位のものもあり。	昨夜からの雨の影響?
19:00		夕食	船上レストランでバイキングディナーを食べる。	
			サッカーボール大のハム・ブロックを、目の前でスライスしたもの二枚	日本との時差(16時間)
			をメインデッキに会食する。(少し塩辛かった)	
			70才以上は20%の割引が適用されたが、一般人よりよく食べた。	N氏と私が適用
8月24日				
8:30		ケチカン着	初めての上陸の町・ケチカンの港に着く、南行きのタク号が着岸中、	
			出航待ちで20分おくれた。フェリー乗場は市街地から離れていて、	
			期待していたトーテムポールは見られなかった。	
10:50		ケチカン発		
16:10		ランゲル着	小さな港に白い大きな豪華客船が停泊していた。	
			停泊時間が短いので、写真だけ撮って船に戻る。	
16:45		ランゲル発		
18:30		クリスマスツリーライン	両岸の幅が300m程に接近し、モミヤトウヒの森が水際まで続き、	
			その中に別荘らしきログハウスが散見された。	
19:30		夕食	レストランの受付でページャー(ポケベル)を渡される。	
			キャプテンズ・シーフードとアラスカンビールで船旅・最後の夜を	
			打ち上げる。	
20:00		ピーターズブルグ着	上陸出来ないなので、キャビン内で記録整理などする。	
21:15		ピーターズブルグ発		

8月25日				
5:15		ジュノー着	早起きして上陸したが、フェリー乗場が市街地から10km程も離れていて、見物できるものはなかった。	
7:25		ジュノー発		
9:00		氷河現れる	フィヨルドの両岸に氷河を抱いた山々が、見え隠れしだした。	
10:30		船内防災訓練	乗務員による、船内火災を想定した防災訓練が実施された。	
11:50		ハインズ着	入港したが何処に接岸するのか分かりにくい港で、赤い吹流しが目印だと、後でわかった。	
13:00	88,326	オーシャンサイドRV着	予約していたRVは、フェリー乗場から例によって5km程離れた、市街地の海沿いにあったが、設備も環境も余り良くなかった。オーナーは以前東京に1年程滞在したそうで、私の片言の英語とオーナーの日本語で、RVの予約確認と、設備の説明等を受ける。無線LANはつながらず、事務所の電話も州外は通じず。	
14:00		モーターホーム点検	昨日まではただ走らせるだけだったモーターホームを、今日からは生活するので、各設備の点検、試運転等をする。	
16:00		市内散策	本日から調理を始めるので、市内のスーパーに食料品を買い出しに行く。市街が狭いので、一時間程で一周でき、トーテムポールも幾つか見物できた。公衆電話で在米のS氏と連絡するが、通信不良でつながらず。	
8月26日				
7:45		オーシャンサイド発	本日はB班が担当、ハインズHWYをJCTに向かう。	K氏運転、T氏ナビ
8:30		チクリット川	低く雲が垂れた中に、自然のままの河原が広がっていた。	
9:00		国境通過	アメリカーカナダ パスポートを見せて簡単に通過。国境を通過した辺りから景色が一変し、ツンドラの原野にトウヒの森と湿地が延々と続き、ヤナギランのピンクとアスピンの黄色が鮮やかだ。	
9:30		ハインズ サミット	ハインズHWYの最高点(1070m)	
10:15		ユーコンに入る	途中からユーコン準州に入り、クラン公園の雪の山々が続く。	
12:10		ハインズ JCT	ガソリンを入れ、昼食を取る(ハンバーガー、コーヒー)	
13:55		道路工事	アラスカHWYに入り、クラン湖畔で大規模な道路工事に出会った。パイロットカーに先導され、数キロ続く工事現場を行くと、100トンダンプが路肩の岩石を砕いていた。	
15:00		休憩	シーズ・ブリーズというレストランでコーヒーブレイク。	
15:50	88,675	バーウォッシュRV着	予定より100km程多く走り、バーウォッシュ・ランディングに泊まる。RV駐車場は数台分しかなくお粗末だったが、ホテルを併設しており、ロビーには熊やムースの剥製が飾られていた。	クラン湖畔

			シャワーとトイレが離れていたの、探しながらログハウスを見つけ	
			ノックしたら、中から怖い顔をした中年男性が、盛んに吠える猟犬の	
			首輪を掴みながら、何の用だ！と言わんばかりに出てきたので、	
			家を探していると答えて、アィムソリーといって退散した。	猟銃事件を思い出す
8月27日				
7:40		パーウォッシュ発	アラスカ HWY で、アラスカ国境に向かう。	
9:25		休憩	クルアニ国立公園の白く輝く山々を背景に、トウヒの森や湖が続く中に、	
			白鳥数羽が静かに水草を食べているグリーン湖があった。	
10:40		ビーバークリーク	給油	
11:20		国境通過	カナダ→アメリカ(アラスカ)	
			パスポートチェックの上、警察犬による捜査も受ける。	
		道路工事が続く	アラスカに入ってから、明らかに道路が良くなったが、その分工事	
			が多く4回も通行規制に合った。通行標識の担当は若い女性が多く、	
			愛想がよく、我々にも笑顔で手を振ってくれた。	
13:45	89,050	トク RV着	今日も予定より200km程多く走行し、トク RV ビレッジに泊まる。	
			予約をしていなかったが、サービス棟の近くを確保できた。	
15:00		インターネット	無線 LAN 専用の部屋があったので、何度か接続したがダメだった。	
			先客のアメリカ人夫妻に、接続を手助けしてもらったが接続できず、	
			最後は事情を話して、在米の S 氏に携帯電話で連絡してもらった。	
8月28日				
6:00		朝の散歩	アラスカの日の出を撮影するため、寒い朝に30分近くも待つ。	
			アスペンとトウヒの林に囲まれた RV の上に、ゆっくりと太陽が昇るのを	
			見ていると、遥々遠くアラスカまで来たものだと実感した。	
7:55		トク発	今日からT氏も運転し、トク・カットオフ HWY をグレンナレンに向かう。	
8:20		ムース発見	路肩に車が止まっていたので、近づく小さな沼にムースが一頭水草を	
			食べていた。ほとんど頭を水に突っ込んでいて、写真を撮るのに困った。	
			後でメスと分かったが、ラッキーな一日の始まりである。	
10:40		ガコーナ	先住民のテントが張ってあるロッジに立ち寄ると、ぬいぐるみのような	
			犬がシッポを振りながら寄ってきて、歓迎してくれた。	私は犬が苦手！
11:10		グレンナレン	オムニスーパーで食料を買い込み、車内で昼食を食べる。	
			かにサラダが美味しく、大きな切り身が本物かどうか議論白熱。	かまぼこでは無い！
			グレンナレンよりリチャードソン HWY を、バルディーズに向かう。	
12:20		ランゲル St エイリアス公園	公園のビジターセンターに立ち寄る。	コッパーセンター
			展望台からは雲に隠れて、お目当てのエイリアス山は見えなかった。	
14:30		ワーシントン氷河	チュガッチ山脈に近づく、ワーシントン氷河の威容が目に入る。	

			トンブソン峠、キーストン溪谷、プライダルベールの滝等見所が続く。	
15:20	89,461	バルディーズRV着	RVパークが軒を並べる中に、イーグルレスト RV を見つける。	
			バルディーズはサケやオヒョウの釣り場として有名で、ボートを牽引したモーターホームが、あちこちに駐車していた。	
17:00		イクラの貰い物	近くに駐車ドイツ人夫婦と親しくなり、日本人がイクラを食べることを知っていて、サケの調理場から廃棄処分するイクラを貰ってくれた。	
8月29日				
9:00		市内散策	クルーズまで時間があるので、市内を散策した。 先住民の神様のような巨大な木像が、周囲の景色に栄えていた。	
11:05		ピックアップ	クルーズ会社のバスが、RVパーク前から港まで送迎してくれたが、バス停に資料を置き忘れ、走って取りに帰り一汗かいた。	
12:05		氷河クルーズ出航	港内では川を上る前の秋鮭が、元気に飛び跳ねていた。 港を出るとすぐにラッコが現れ、標識のブイにはトドが寝そべっていた。 海の動物を探しながらウイリアム湾を航海し、コロンビア氷河に向かう。 氷河はかなり減退していたが、近くに寄るとそれなりに迫力があつた。 今日のウイリアムズ湾クルーズで見つけた動物は以下のもの。 1)トド 2)ラッコ 3)イルカ 4)シャチ 5)オットセイ 6)クジラ 7)ツノメドリ	
18:00		帰航		
18:30		イクラの貰い物(2)	今日も調理場でサケをさばっていたので、鍋にいっぱいイクラを貰い、筋をとって水洗い・醤油で味付けし、イクラ丼 20 人分程を作る。	
8月30日				
7:45		バルディーズ発	リチャードソン HWY でグレンナレンに向かう	
8:40		ワーシントン氷河	氷河の先端近くに公園があり、観光バスが一台停車していた。 公園の売店のおばさんが鳥にえさをやっていて、話をすると昔横浜元町にいたことがあるとっていた。	
10:20		休憩	湖の向こうに雪のドラム山が、青空の中で輝いて見えた	
11:10		ランゲル St エイリアス公園	前回曇りで展望が利かなかつたので、再度訪問する。 ドラム山、エイリアス山の眺望がすばらしかった。	
11:50		グレンナレン	前回と同じオムニスーパーで買い物し、車内で昼食を食べる。 今回はかにサラダは売り切れて置いていなかった。 グレンナレンよりグレン HWY を、マタヌスカ・グランビューに向かう。	
14:20	89,780	グランビューRV着	グランビューRV はマタニスク氷河の少し手前にあり、若い女性がオーナーで、洒落たログハウスのレストランを併設していた。 店内に望遠鏡があり、前の山にドールシーブ一家が住んでいた。	
17:30		夕食	夕食前にワインを飲んでいると、隣の車のアメリカ人が話しかけて来て、	

			我々がイクラを食べているのを見て、奥様手製のサケの燻製を差し入れ	
			してくれた。奥様にもよろしくと伝えたら、彼女も顔を出してくれた。	
8月31日				
6:00		起床	今日はドールシープが10匹以上見られた。	
8:00		朝食	昨日受付時に朝食の案内をもらったので、レストランで食べることにして	
			8時まで待ったが、ホットケーキとベーコンの朝食は大変美味しかった。	
8:50		グランビュー発	氷河ハイクの前に、ジャコウウシ牧場を下見するためパルマーに向	
			かったが途中の道路工事で時間が掛かり、2時間程走って引き返す。	
12:40		グランビュー着	急いで車内で昼食を食べ、ハイキングの準備をする。	
13:40		ピックアップの手違い	ツアー会社の車が、13:30にRV前へ迎えに来ると聞き、待っていたが、	
			聞き違いらしく、急いでツアー現場へ向かう。	
14:20		氷河ハイキング	ツアー会社から靴、クレポン、ヘルメット、ストック、手袋等を借り、元気な	
			ガイド嬢をリーダーに、日本・アメリカ・カナダの7名でハイクに出発する。	
			氷河は意外に硬く、色も白・黒・青とあり、形成時の泡を含んでいた。	
			2時間程進んだ所に、氷の壁と小さな氷河湖があり、そこが終点らしく	
			記念撮影をして引き返す。	
18:00	89,980	グランビュー着		
9月1日				
7:35		グランビュー発	グレン HWY でパルマーに向かう。	
			工事中も2回目に通ると苦にならず、案外スムーズに通行できた。	
9:30		ジャコウウシ牧場	牧場は前日引き返した場所から2マイル先の所にあった。	
			小さな牧場なのに見学料8ドルなので、土産物を物色して出発した。	
10:30		パルマー	アラスカに入って初めての信号と立体交差に、戸惑って道を間違う。	
			パルマーからはパークス HWY で、デナリに向かう。	
11:00		休憩所通過	道路左側に、マッキンリー山がきれいに見える休憩場所を見つけたが、	
			車がいっぱいに入れなかったので、パスする。(ここが一番だった！)	
12:30		昼食	昼食にピザを注文したら、大きいから一枚で充分と云われたが、二枚	
			注文してみたら、やはり半分残りドギーバックで持ち帰ることになる。	
14:30		直線コース	延々と続く直線コースの向こうに、マッキンリーの頭が見え隠れしだした。	
16:20		デナリ到着	公共施設が幾つかあるので、チケットセンターを探すのに手間取ったが、	
			事前に予約していたので、日程変更もスムーズにチケットが取れた。	
17:00	90,461	デナリRV着	デナリレインボーRVは、商店街のすぐ裏にあり、土産物などを買うには	
			便利だし、シャトルバスへの連絡バスの乗場にも近いが、宿泊場所	
			としての環境は、騒がしくて余り良くなかった。	
9月2日				

7:00		デナリRV前出発	バス乗場が聞く人によって違うので、案内人風の女性に聞いてみたら、	
			我々を引き連れて搭乗場所の位置まで行き、ここだ！と教えてくれた。	
7:40		シャトルバス出発	今日は快晴に恵まれ、マッキンリーが良く見えるように左側の席に座る。	
			タイガの森を過ぎると、ツンドラの大地もベリーの紅葉で真っ赤に染まり、	
			青空の向こうにマッキンリーの白峰を期待して、バスの旅人となる。	
			車窓からムースや、ブラックベアー、トナカイ、等を見つけては、バスを	
			止めて双眼鏡やカメラで大騒ぎする、まるで大人の遠足となった。	
10:30		ストーニーヒル	ストーニー・ヒルからはマツキンリーの全容が見えるようになり、	
			入れ替わりして記念写真を撮る。	
11:05		アイルソンセンター着	周囲の環境に配慮した石造りの建物の中で、持参の昼食(昨日のピザ)	
			を食べ、写真を撮りながら周辺を散策していると、突然リスが現れた。	
			夢中になって写真やビデオを撮り、バス停にもどると、乗ってきたバスは	
			すでに発車していた。アナウンスの聞き間違えて乗り遅れたのだ。	
13:20		アイルソンセンター発	いろいろ聞き回って、一時間後発のバスに乗り、戻ることになった。	
			帰りもグリズリー親子の食事風景を見たり、オスのムースが道路に	
			出てきて、バスの前を我がもの顔で歩く、ビッグチャンスもあった。	常習犯か！
17:30		デナリRV 前到着	夕食後、民芸品店でトーテムポールを購入。	
9月3日				
8:05		デナリ発	パークス HWY を、一路フェアバンクスへ向かう。	
			道の両側にアスペンと白樺の黄色と、トウヒの緑の森林が延々と続く。	
11:20		フェアバンクス	スーパー(フレッドマイヤー)で食料品等を買ひ込む。	
12:40		フェアバンクス	中華料理店を探したが見つからず、デニーズで昼食を取る。	
			デニーズはメニューが写真になっていて、注文ハズレが少ない。	
			フェアバンクスより4車線を含む、よく整備された道をチナ温泉へ向かう。	
15:00	90.756	チナ温泉リゾート着	久しぶりにロッジで宿泊したが、ダブルベット2台で4人は窮屈だった。	
			ここは日本人スタッフもあり、日本人客も何組か見かけたが、我々の様に	
			モーターホームで旅行しているグループはいなかった。	
16:30		温泉入浴	岩風呂風のチナ温泉大露天風呂に、水泳パンツを着用して入る。	
18:30		夕食	レストランで夕食、日本語のメニューで注文、日本語で対応してくれた。	
20:00		メール送信	近況報告のため入浴中の写真を添付して、メール送信する。	後で問題となる
23:30		オーロラ	空が明るくなったので外へ出ると、白い雲のようなものが突然揺れだし、	
			オーロラだ！と分かり、皆に知らせたが5分後には姿を消した。	
			その後午前2時頃まで見張ったが、現われなかった。	
9月4日				
8:20		チナ発	昨日の道をフェアバンクスに向かう。	

9:20		フェアバンクス	市内のバイパスを抜けて、リチャードソン HWY をトクに向かう。	
10:00		ノースポール	クリスマスハウスで買い物、庭で飼育しているトナカイの写真を撮る。	
12:25		デルタ JCT	昼食、給油	
		直線コース	道路の両側に、トウヒとアスピンの森の直線コースが 40km 程続く。	
15:00	91,185	トクRV着	二度目の宿泊、	
20:00		ネット接続	ネットがすぐ接続できたが、グーグルからクレームの連絡が入っていた。	
			前日送信の入浴中の写真がチェックに触れ、メール送信が不通となる。	
23:30		オーロラ観察	今夜もオーロラを期待して夜空を眺めたが見られず。	
9月5日				
7:00		トク発	今日はテイラーHWY でドーソンシティに向かう。	
7:15		テトリン JCT	テイラーHWY に入ってから、大規模な山火事の跡が続くが、広大な大地	
			から見ると、これも自然現象の一つとして受け入れられているのだろう。	
8:45		チキン	ユーコン川の支流を渡って、センターラインの無い未舗装の山道が続く。	
9:50		イーグルとの分岐	分岐を過ぎる、少し道が良くなってきた。	
10:10		小さな喫茶店	トップオブザワールドの出発点の喫茶店でコーヒーを飲む。	
			風情のある廃屋の前で、記念写真を撮る	
11:40		国境到着	カナダ税関員の簡単な質問で通過	アラスカ時間 10:40
11:50		山頂	トップオブザワールドの最高点で記念撮影する。	
			カナダ側は道が良く、スカイラインの展望を楽しみながら、尾根を下りる。	
13:30		ドーソンシティ	ユーコン河をフェリーで渡って、ドーソンシティに入る。	
			ドーソンシティに泊まらず、クロンダイク HWY をホワイトホースに向かう。	
14:00		ハンカークリーク	金鉱堀りの跡地で、遅い昼食を取る。	
17:00	91,664	ステewart X シングRV着	予定より 200km 多く走って、ステewartクロッシング RV に着く。	
			近くに橋があり、眺めの良い場所にある。	
9月6日				
2:00			30 分間オーロラの大競演(乳白色の渦巻き・カーテン・炎など)を見る。	
			偶然外に出て見つけたので、写真やビデオの映像には残せなかった。	
7:20		ステewart X シング発	クロンダイク HWY でホワイトホースに向かう。	
			太陽が昇り始め、朝もやが視界をさえぎる中を、快調に疾走する	
9:10		カルマックス	給油	
10:20		フォックスレイク	静かな湖畔で休憩、山が湖面に写って仏様の顔のように見えた。	
11:20		ホワイトホース	市民マラソン?のランナーとすれ違う。	
			こちらに来て初めて、スリムな人々の集団を見る。	
13:05		テスリン	昼食、今日はハードドライブで、昼食までに 550km 程走行する。	
			レストラン前の公園でムースの像と戯れていると、これからムースを狩猟	

			に行くという、元気なハンターに出会う(?)	
17:15	92,456	ワトソンレイクRV着	町外れの湖の側のダウントウン RV に宿泊する。	
			近くにスーパーがあり、買い物に便利な所だ。	
9月7日				
6:00		RV側の湖畔	朝日が湖上の雲を真っ赤に染めて、昇ってくる風景を写真に撮る。	
6:55		ワトソンレイク発	今日はリアード温泉の朝風呂に入るため、200km の道を往復する。	
9:35		リアードリバー温泉着	公園駐車場から湿地の中の木道を辿って、5分程で温泉があった。	
			森に囲まれて、深さも湯温も丁度良い素敵な露天温泉である。	
10:20		リアードリバー温泉発	来た道を 200km 戻る。	
13:05		ワトソンレイク着	車のナンバープレートを飾った、サインポストの森を見る。	
13:45		カッシャーHWY	JCT で給油し、今回の目的地の一つカッシャーHWY(37号線)に入る。	
			入り口からいきなり波乗り状態が続くが、前方からコンボイが走って来た	
			のにはビックリした。その後通常の砂利道と簡易舗装の道になった。	
15:00		グッドホープ	カッシャーHWY で初めての休憩、森と湖と山々が美しい。	
		ディーズレイク湖畔	湖畔沿いに真新しい舗装道路が30分程続く。	快適!
17:00	93,136	ディーズレイクRV着	予定していた RV を探すのに手間取り、道路沿いの RV に決める。	
			18時を過ぎるとスーパーも閉まり、アルコールなしの夕食となる。	
9月8日				
7:20		ディーズレイク発	カッシャーHWY をメジディアン JCT に向かう。	
8:35		イスカット	周囲の風景は、両側に山々が近づいているので、日本の山岳地方の	
			景色に良く似ており、上高地や、弥陀ヶ原、尾瀬、白馬山麓、中には	
			槍・穂高連峰を彷彿させる場所もあった。	
			この中をハイウェイで疾走するのは、実に愉快的気分である。	
10:55		ベルII ロッジ	最後の給油場所のベルII ロッジに着く。	
			素敵な石造りのロッジで、スタンドを見落す程だった。	
			10台程のモーターホームが駐車していたが、全てスティワートに向かう。	
12:10		メジディアン JCT	スティワートとの分岐点の広場で、車内で昼食を食べる。	
13:10		ベアー氷河	ベアー氷河を見物に氷河 HWY(AK37A)をスティワート方面に向かう。	
			道の直ぐ側に氷河が見えるが、随分後退しており、間に氷河湖が	
			あって、近づくことはできなかった。	
13:40		道路工事	交通整理のおじさんのヒゲが立派なので、写真を撮らせてくれと言うと、	
			ベアー氷河をバックに撮ってくれと、注文される。(熊を意識してか!)	お見事!
16:20	93,678	キッツワングRV着	途中で給油と買い物をして RV に到着する。	
			近くにテーブル氷河のある山々が見え、白樺やトウヒの大木が点在する	
			緑豊かな、今までで一番環境の良い RV である。	

9月9日				
7:30		キッツワング発	イエローヘッド HWY を、プリンスジョージへ向かう。	
9:00		ニューハゼイトン	ビジターセンターで洗車をして、クサン歴史村に向かう。	歴史の町をアピール
9:15		クサン着	先住民の住居跡や、トーテムポール、民芸品を展示・販売している施設	
			があり、日本のアイヌ民芸品に似たものが多い。	
			ここで名古屋大学に留学経験のあるネパール人の青年に会い、流暢な	
			日本語で話しかけられ、N氏とヒマラヤ登山の話などした。	
10:30		クサン発		
11:15		スミサーズ	この辺から牛や馬の牧場が多くなり、人の手の入った風景になり、	
			北海道の日高地方を思い出させた。	
13:00		バーンズレイク	町外れのカフェで昼食。	
			かにを期待してクラブサンドイッチを注文したら、LとRの違いで普通の	
			ベーコンサンドが出てきたが、大変美味しかった。	
14:20		バースト遭遇	前を走っていた大型ミキサー車のタイヤが、突然白煙を上げてバースト、	
			し、タイヤの破片が舞い上がった。少し車間を取っていたので被害は	
			無かったが、車はそのまま走っていった。	ダブルタイヤ
15:00		フレッシュャーレイク	休憩	
16:00		バンダーホーフ		
17:50	94,230	プリンスジョージ着	場所が分らず市内を走り回り、ブルースプリュース RV に到着。	
			前評判は良かったが、電気・水道の調子が悪かった。	
9月10日				
8:00		プリンスジョージ発	イエローヘッド HWY で、いよいよ待望のカナディアン・ロッキーの入口	
			ジャスパーへ向かう。	
10:15		マックブライド	給油と休憩。	
			スタンドには余りにも周囲の景色が良いので、ゆっくり休憩する。	
11:00		小熊と遭遇	突然車の前方を小熊が横断し、森の中に消えていった。	
11:15		ロブソン山	進行方向に忽然として雪を頂いた岩峰が現れる。	
			ロッキー北部の名峰ロブソン山の北壁で、早速マウンテンゴートの	標高 3965m
			プレートを入れて写真を撮る。	
11:30		展望休憩場	ロブソン山の近くだが、観光バスが多数駐車していたので通過する。	
12:05		国立公園入門所	入園料3日間・4人分 58.8\$	
12:45		ジャスパー着	ジャスパー・国立公園キャンプ場を予約し、トラムウェイに向かう。	
13:40		ウイスラーズ山	トラムウェイで山頂に上ると、最近降った雪が一面に残っていた。	
			快晴に恵まれ、ジャスパー周辺のロッキーの山々が一望できた。	
16:30		ジャスパー市内散策	商店街、駅周辺を散策中、週一便のカナディアン・パシフィックが	

			駅に入ってきたので、手を振りながら写真を撮る。	
			駅舎で一人でカナダ旅行中の山口大生と出会い、情報交換する。	
18:00		夕食	こちらに来て始めての中華料理を食べる。	
			日本語の話せる店主と、料理談義に花を咲かせる。	
19:00	94,642	ジャスパー・キャンプ場着	国立公園のため環境は良好だが、電気、給排水なく、不便である。	
			キャンプ場の森の中では、数匹のエルクに出会った。	
9月11日				
7:30		ジャスパー・キャンプ場発	アイスフィールド・パークウェイを、レイクルイーズに向かう。	
7:40		国立公園検問	前日の入園証明書を見せる。	
8:15		アサバスカ滝	水量豊富なアサバスカ川が、岸壁の間を急瀑となって流れている。	
8:50		サンワブタ滝	アサバスカ川とサンワブタ川が、この地点で合流して瀑布となっている。	
10:05		エルク発見	エルクの一群(10匹程)が道路を塞ぎ、車が渋滞していた。	
10:15		コロンビア大氷原	レイクルイーズと共に、カナディアンロッキーを代表する観光地。	
			大型の雪上車に乗って急な坂道を上り下りして、大氷原に着く。	
			今まで見てきた氷河とは一味違う、大氷原を写真に収める。	
13:00		サスカチワンクロッシング	公園内唯一のガソリンスタンド(?), 給油と遅い昼食を取る。	
			周囲の景色が素晴らしく、さすがロッキー公園内の施設だと感心する。	
14:15		ボウ峠	駐車場から10分程歩いて、峠の展望台に着く。	
			展望台からペイトー湖の緑青色の湖面が一望できた。	ロッキー一番の眺望
14:50		ボウ湖	美しい湖だが、観光客が多かったので通過する。	
15:30		レイクルイーズ着	ビジターセンターに寄る。	
16:00	94,896	レイクルイーズ・キャンプ着	キャンプ場に泊まる。	
9月12日				
7:15		レイクルイーズ発	今日はアイスフィールド・パークウェイでバンフ方面に向かう。	
7:40		モレーン湖	朝早く着いたので、静かな雰囲気でもレーン湖を見られたが、	
			小雨混じりの天気のため、周囲の山々が霞んで見えた。	
			時間があつたので湖畔を散策したが、案外小さな湖であつた。	
9:00		ルイーズ湖	定番の観光地だけに日本人のグループが幾つか見られた。	
			雲が掛かっていたが、湖と氷河の山をバックに記念写真を撮る。	
10:20		バンフ・ホットスプリング	サルファー山の山麓の温泉プールで、周囲の山を眺めながら	
			温泉気分を味わう。	
11:00		ボウ滝	上流数百mから急流が渦巻き、ボウ滝で怒涛の如く落下している。	
			近くの森の中に、古城のようなフェアモント・バンフスプリングがあつた。	
11:30		バンフ市内散策	サブウェイで昼食、注文に戸惑ったが格安だった。	
12:50		バンフ発	アイスフィールド・パークウェイでレイクルイーズに戻る。	

13:35		レイクルイーズ着	スーパーで買い物、給油、	
15:10	95,059	キャンプ場着	夕方から雷雨に見舞われたが、短時間で上がった。	
9月13日				
7:05		レイクルイーズ発	トランスカナダ HWY をカムループに向かう。	
8:05		タカカウ滝	朝もやの中を AK1 で西に進み、途中から右折してタカカウ滝に向かう。	
			急な斜面に2ヶ所、スイッチバックで切り返すカーブがあった。	
			高さ(250m)の、タカカウ滝が白雲を上げて落下していた。	
			周囲にはヨーホー国立公園の山々が、氷河を抱いて連らなっていた。	
9:30		カatedral山	滝からの帰路に、新雪で白く輝くカatedral山の岩峰が迫ってきた。	
10:30		ロガーズパス	工事中の、未舗装の山道が続くが、途中からレベルストーク公園の	
			雪を頂いた山々が見え出した。	
12:05		レベルストーク	デニーズで昼食。	
14:00		サロモンアーム	通過	
15:35	95,525	カムループス着	カムループス RV に着いたが、管理人が留守で待っていたら、	
			長期滞在の人達が空いている場所を見つけてくれた。	
			場所は少し汚れていたが、設備は完備し清潔であった。	
9月14日				
8:00		カムループ発	間違ってコクイハラ HWY を走り、メリットまで南下する。	
9:00		メリット	赤松の林が続くので、カナダ産のマツタケを思い出し、周囲の森を	
			見回すが、幾ら走っても人影がなく確認することはできなかった。	
10:15		スペンシーズブリッジ	周囲は日本の山村のような風景が続く中で、突然貨物列車に出会う。	
			真っ赤なジーゼル機関車が100両近いタンク車を牽引していた。	
11:00		カシュクリーク	この辺で始めて、家の周りに野菜を植えている家を見つけた。	
11:35		パピリオン湖	湖は微生物学上の特殊な環境のようで、学術的な研究がされている。	案内板に表示
12:30		リルエット	疎らに木のある砂岩の山と渓谷が延々と続き、やっとスタンドと軽食の	
			あるリルエットに着く。	
14:45		ペンバートン	馬の放牧やトウモロコシの栽培など、農村風景が目につきた。	
15:25		ウイスラーRV着	ウイスラー市内には RV は無いものと諦めていたら、中心街の手前で、	
			リバーサイド RV を見つけた。環境・設備もすばらしい所である。	
9月15日				
8:10		ウイスラーRV発	ウイスラー周辺見物	
8:30		グリーンレイク	個人の別荘が湖の周辺に多数あって、湖岸に近づきにくい所だ。	
9:05		ビジターセンター	ゴンドラのキップを購入に行くと、今日は快晴なので山頂まで行くこと	
			を進められる。	
9:40		ゴンドラ乗場	乗場で時間待ちしていると、元海軍で佐世保市に駐在していた米国人に	

			日本語で話しかけられ、こちらも片言の英語で話し合った。	
9:50		ゴンドラ乗車	20人乗りのゴンドラで、途中傾斜が変わるので歯車の切替場所がある。	
11:00		ウイスラー山頂上	ゴンドラ28分間、リフトまで15分程歩き、リフトで山頂まで15分で行く。	往復 \$25はお値打ち
			途中ウイスラーの美しい町並みを見下ろす景観も良いが、山頂からは	
			快晴の青空の下に、氷河や雪溪の残った山々を、遥か遠くまで一望	
			できたことは、今回の旅での最高の景色だった。	
11:15		ハイキング	山頂よりハーモニー・リッジコースを、ゴンドラ駅までハイキングする。	
12:20			ハーモニー池の側でおにぎりを食べる。	
13:30			ゴンドラ駅到着	
14:30		ウイスラー市内	散策、買い物	
16:20		ウイスラーRV着		
9月16日				
8:45		ウイスラー発	99号線をバンクーバーに向かう。	
9:30		休憩	昨日ウイスラー山頂から見えたタンタルスの山々が、身近に見えた。	
10:40		スクアミシュ	期待していたシャノン滝は、入り口を見逃し通過する。	
			2010年冬季オリンピックのため、道路工事が盛んに行われていた。	
11:05	96,099	カピラノRV到着	トランスカナダHWYからカピラノに入る道を間違え、しばらく市街を走って	
			目標のビルなど見つけて、無事カピラノRVに到着した。	
			車を洗浄してから、前回食事をしたホワイトスポットで昼食を取る	
		諸連絡	関係者に無事到着を連絡、ホテルに予約確認するが登録不明なので、	
			再度旅行業者にメールで確認する。	
17:00		夕食	スーパーで豆腐を買ったので、マーボ豆腐を作る。	好評
9月17日				
9:00		カピラノRV発	タクシーでバンクーバー水族館へ向かう。	
9:30		水族館	シーラカンスの剥製や、人気の白イルカ親子など見るものがあり、	
			写真撮影が自由なので、面白い写真がとれた。	
12:00		バンクーバー市内散策	カフェで昼食後、ロブソン通りで土産物購入する。	
14:30		カピラノRV着	タクシーで帰るが、つり銭を要求したら、気分を悪くしていた。	
		諸連絡	明日のレンタル会社への先導は、タクシーに依頼することにした。	
9月18日				
8:30		カピラノ発	通勤時間帯のため、先導なしでは通行できそうにない道路を通ったが、	
			郊外に出ると激しい渋滞のため、1時間半近くかかった。	
			今回のタクシー先導は非常に有効で、インド人ドライバーに感謝した。	
10:00	96,148	レンタル会社到着	ガイドの打越氏と落ち合い、車両の返却手続きをする。	
			幸いトラブルが無かったので、保証金は全額返納される。	

11:30		ホテル到着	クオリティーホテルまでガイドの車で案内してもらう。	
			15:00 チェックインのため、昼食をとり市内を散策すると、中国人系の	
			多いのに驚いたが、リッチモンドという地名に引かれ集まるようだ。	
9月19日				
3:30		ホテル発	タクシー2台手配(今までのタクシー運転手は全てインド人系だった)	
6:00		バンクーバー発	UA041 UA 受付前の端末機で、日本語画面で座席予約をする。	
			アイスクリームの免税品の持込が遅れたため、手荷物でシスコまで行く。	
8:15		シスコ着	ワインをトランクに入れようと思ったが、直接名古屋便に積み込まれてし	ひと騒動あり
			まい、手荷物検査では液体はダメと云われ、ユナイテッド航空の係員	
			に何とか成らんかと頼んで、別バッグで発送することとなった。	われものラベル貼付!
10:59		シスコ発	UA831	
9月20日				
14:10		中部国際空港着		
16:30		中部国際空港発		
17:45		三交・生桑車庫着		
走行距離	8,003			

IV. 話題いろいろ

1. 自然・景観

今回の旅行を思い立ったのは、やはりアラスカ・カナダの大自然を見たい、その中に身を置きたいという願望からなので、まずその自然の話から始めたいと思います。

- 1) 海……カナダ・アラスカの太平洋側の沿岸は、日本出発の世界一周クルーズが最後に立寄る景勝地として有名ですが、我々はこの海を旅の出発点とし、アラスカマリーンハイウェイのインサイドパッセージで、3泊4日の船旅を楽しみました。

船旅の魅力は、寄港する港でのお楽しみにもあるでしょうが、幸か不幸か接岸した場所がかなり市街地から離れていたもので、純粹に自然と対峙することができました。特にアラスカ沿岸に入ってから、フィヨルドの奥に氷河が見え出し、海が乳白色に変化したので、いよいよ氷河の地域に近づいたのだと、ワクワクしました。

さらに数日後、バルディーズからプリンス・ウイリアムズ湾クルーズでコロンビア氷河を見物に行った時は、途中でラッコやシャチ、クジラなどを発見することもでき、海の楽しさを充分味わうことができました。

- 2) 山……50年近く山登りを趣味として過ごしているが、特に海外の山に登りたいという気持ちはなかったが、観光としてはスイス・アルプスやカナディアン・ロッキーには興味を持っていた。今回アラスカ・カナダをドライブするに当っては、マッキンリー山とカナディアンロッキーを楽しみにしていたが、実際に走ってみてこれらの山々の素晴らしさに感動するとともに、これらに劣らない山々が沢山あるのにも驚かされた。

デナリ公園は秋真っ盛りで、ベリーの紅葉がツンドラの大地を赤く染め、その向こうにマッキンリー山の白い峰が望め、ストーンヒルからは白峰を左右に眺めながら、バスに揺られてアイルソンセンターまで行った。ここで改めてマッキンリー山の全容をカメラとビデオに納めた。

カナディアンロッキーでは、突然目の前に現れたロブソン山の北壁に、驚きと感動をうけた。ウイスラーズ山とウイスラー山の山頂へはゴンドラで上がったが、何れも雲一つ無い快晴で、周囲の山々が一望の下に眺められて、その中をハイキングで一汗かいたことは、楽しい思い出となった。

今回南下ルートとして選んだカッシャー・ハイウェイ(37号線)は、他のアラスカやカナダの風景とは一味違う面白さがあった。それは山と谷が近くに見えて、日本の山岳風景に良く似ていたことで、白馬山麓や立山・弥陀ヶ原、八ヶ岳山麓、或いは槍・穂高連峰を連想する場面が幾つもありました。しかも人の気配や建物が何もなく、対向車もない一本道を快走する醍醐味は、何物にも変えがたいものであった。

- 3) 湖……アラスカに入って最初に見たのはクシアニ湖で、湖岸を2時間程走った湖畔にあるバーウオッシュランディングRVに宿泊した。生憎の曇り空であったが向こう岸まで見渡せ、静かで落ち着いた雰囲気湖であった。湖はそれ単独で景観を保つこともあるが、山や森とセットになって引き立てることが多く、この地には山・森・湖が豊富にあり、至る所で似たような風景に出合った。

レイクルーズはカナディアンロッキーの宝石と言われているが、感銘を受けたのはボウ峠からのペイトー湖で、乳緑色の湖面が白雪の山々や、青い森と織りなすパノラマの中で、ひと際輝いて見えた。

また、カムループから150km程西のマーブルキャニオンでは、パビリオン湖という不思議な湖に出会った。5億年前の微生物が繁殖している特殊な環境の湖で、現在学術的な研究がされているらしい。(案内板に記載)

- 4) 平原……今回の楽しみの一つは、地平線まで続くツンドラの大平原を、車で走ることでしたが、ジョージパークス・ハイウェイやリチャードソン・ハイウェイ(ノース)の一部で、直線コースの道路を30分近くも走行する体験をした。

また、トップオブザワールド・ハイウェイでは、周囲の風景が全て見下ろせて、地球の屋根の上を走るような体験もしました。

- 5) 氷河……昨今の地球温暖化論議は別として、地球上で氷河を多く残している地域の一つが、アラスカ・カナダの西部国境地帯で、ランゲル・セントエライアス国立公園をはじめ、いくつかの公園となっている。この地域にはカナダ第一の高峰ローガン山があるが、陸上からは近づくことは出来ない。

バルディースからクルーズでコロンビア氷河を見物に行ったが、氷の壁が海に崩れ落ちると言うよりは、海に押し流されている状態であった。

マタヌスカではツアー会社から靴やヘルメット・クレポン等を借りて、氷河ハイキングをしたが、雪山山登山を思い出し楽しいひと時を過ごした。氷河は意外に硬く、色も白・黒・青とあり、数百年前の氷河形成時の泡を含んでいた。

他に、ワーシントン氷河やベアー氷河を身近に見たが、いずれも後退していて足場が悪く、近寄ることはできなかった。

氷河見物のハイライトは、ロッキーでのコロンビア大氷原雪上車ツアーであった。写真などでよく見る景色だったが、氷河が身近に迫っていて迫力があつた。

- 6) 滝……残念ながらナイアガラの滝を見ることはできなかったが、高さ250mのタカカウの滝を見ることができた。この滝はヨーホー国立公園の山々に囲まれ、上部の氷河から流れる水を、霧のように舞い上げて落下していた。

ロッキーでは、アサバスカ、サンワプタ、ボウの滝を見物したが、何れも水量が豊富で迫力があつた。他にはインサイドパッセージの船旅で、両岸の切り立ったフィヨルドの上部から、幾筋もの水が落下する所(これを滝と云えば)が見られた。かの立山・称名の滝(350m)も、雨の時は隣にハンノキの滝(500m)が見られる如きである。

2. 自然現象

- 1) オーロラ……今回何よりも期待していたものは、オーロラの観察であつた。

そのため、オーロラが発生する可能性のあるRVでは、午後11時と午前2時には誰かが外に出て、空を見ることにしていた。

最初はチナ温泉で、9月3日午後11時半に5分間程度確認しました。始めは空に明るい雲のようなものがあり、しばらくして急に動きだしたので、オーロラだと皆に伝えて戻ったら、数分間で消えてしまいました。

次は、ドーソンシティーから200km離れたスティワートクロッシングで、9月6日午前2時過ぎから約30分間、乳白色の雲のようなものが、カーテンや渦巻き、大波などに変化して、空を駆けめぐる現象を確認したが、残念ながら映像には残せなかった。翌日からカメラを調整して待ち構えたが、確認できないまま寝不足が続いたので、写真撮影はあきらめた。

- 2) 日の出……大平原から昇る太陽を撮ろうと、トクRVで朝早くからカメラを持って待ち構えたが、空が赤くなってから太陽が顔を出すまでに30分近く掛かり、日本で経験したよりも2倍以上長く感じた。

しかし、地平線に赤い雲の線を引いて、ゆっくり日が昇る様子は感動的であつた。

- 3) 朝霧……日本では霧を見ることは少なくなったが、この地では早朝の出発時は霧の中を走ることが多く、湖や川から湧き出た霧が日の出とともに流れ出し、道路一面を覆い隠して視界数mの時もあった。

カナダの車両は昼間でもライトが点灯する仕様になっているので、対向車を早く確認することができた。

- 4) 温泉……火山国の日本は至る所に温泉があるが、今回のコースには5ヶ所程度しか見つけられなかったが、そのうち以下の3か所に入浴した。

- ① チナ・ホットスプリングは、フェアバンクスから90kmの地点にあり、日本人の係員もいて、日本人に人気のある温泉で、オーロラの観察も可能である。

我々はオーロラ観察も考えて4人用のロッジに宿泊したが、大型ベット2台で4人が寝るのは窮屈であった。

露天風呂は周囲を花崗岩で組んでいて、水着着用を除けば、新穂高温泉の岩風呂に入っているような気分になったが、現地の状況からは温泉に入ってオーロラを見るのは無理だった。

- ② レアード・ホットスプリングは、ワトソンレイクから200kmの地点にあり、公園入口で入浴料を払い、湿地帯の中の木道を5分程歩いた所に、森に囲まれた温泉があり、日本人好みの風情のある雰囲気であった。(同じく水着着用)

片側を木柵で囲み階段があり、反対側は自然の森が取り込んでおり、源泉が上流から流れ込んで、下流の別の湯船に流れ込むような仕組みになっていた。

- ③ バンプ・ホットスプリングスは、サルファー山のゴンドラ乗場の近くにあり、周囲の眺めは素晴らしいが、観光客からも見られる温泉プールで、ジャグジーが付いていたので、ゆっくりと旅の疲れを癒すことができた。

3. 動物、植物

- 1) 陸の動物……最初にムースを見たのは、アラスカに入って2日目のトクRVを出発し、しばらく走った所の小さな沼で、水中に頭を入れて水草を食べていて、頭に水草が付いてオスかメスの区別が付きにくかったが、よくよく見るとメスであった。

次はマタヌスク氷河の近くのグランビューRVの前山に、ドールシープの一家が住んでいて、朝夕食事に出てくるのが遠くに見えた。

一番良く見えたのは、野生動物の宝庫・デナリで、以下のものが見えました。

- ①ブラックベアー ②カリブー ③ドールシープ ④ホッキョクジリス
⑤グリズリーベアー ⑥オスのムース(バスの前を悠然と歩く)

その他、路上やキャンプ場で見えたものは、小熊やエルクなどがある。

- 2) 海の動物……T氏がインサイド・パッセージでクジラとイルカを見たいが、これは別として、多くの動物はウイリアムズ湾クルーズで見られた。

- ①ラッコ ②トド ③イルカ ④シャチ ⑤オットセイ ⑥ザトウクジラ
⑦ツノメドリ など

但し、クルーズのスタッフが望遠鏡で監視し、シャチやクジラなど見つけると全速力で近づき、乗客がカメラやビデオで撮影する光景も、あまり繰り返されるとシャチが可哀想に思えてきた。(反対にシャチが楽しんでいるのかもしれないが……)

- 3) 植物……一番印象的だったのは、ツンドラの大地をベリーの紅葉が真っ赤に染めて、遥か地平線まで続いていて、この季節を選んで本当に良かったと思っている。
またアラスカとカナダ北部では、アスペンと白樺が黄色に色づき、トウヒやモミの緑色と混ざり合って、単調なハイウェイの沿線を彩ってくれた。

草花ではヤナギランのピンクや、ルピナスの紫の花が目を引き、また南に下がるとワタスゲが路肩を真っ白に染め、綿毛が飛び跳ねていた。

カムループの近郊だったが、真っ白なワタスゲの群生と、真っ赤なベリーの紅葉？が、円弧を描いて草地を彩っていたのを見たが、引き返して写真を撮っておけばと後悔している。

4. 国境、都市・町

1) 国境……今回の旅行で国境(税関)を越えたのは8回あったが、そのうち車で通過したのが4回あった。

- ① ワシントン州ベアリングハムでは、カナダからアメリカに入国する車両(トラックを除く)の検問所を通行したが、平日の午前中にも関わらず大渋滞で、2時間近く掛かって検問所に着き、形式的な質問とパスポートの確認を受け、通過することができた。
- ② B・C州クルクワン近郊では、アメリカからカナダへ入国したが、パスポートを見せて簡単に通過できた。
- ③ ユーコン州バンダレーでは、カナダからアメリカへ入国したが、数人の検査官が麻薬犬を連れて、ドラッグやピストルの所持など質問し、パスポートの写真と本人の確認をし、やっと通過させてくれた。(後で笑顔で挨拶していた)
- ④ アラスカ州バンダレーでは、アメリカからカナダに入国したが、ここは余り車が通らないので、珍しそうに我々を見ながら砂金採りのスタンプを押してくれた。

2) 都市……バンクーバー以外には都市らしい場所には立ち寄っていないが、観光の町も含め、簡単に感想を述べる。

- ① バンクーバーには延べ5日間滞在したが、3日間はカピラーノRVに泊まり、主にモーターホームの手続き・移動に費やし、市内見物と買物は帰国直前の一日だけとなった。その日はスタンレー公園内の水族館を見学し、トーテムポール広場を見物した後、歩いて市内のロブソン通りまで買物に行きました。高級品店は素通りして、手頃な土産物店を探して買物しました。

翌日リッチモンドのホテルに移動し町に出ると、中国人の多いのに驚いた。香港返還の時に移住したそうで、現在もかなり残っているようです。

中国人の不動産需要は大きく、建築中の建物なども多く、支柱と床をコンクリートで固め、壁や窓はガラスと軽量材をはめ込んだようなビルを、幾つも見かけました。地震の心配が無いからでしょうか。

- ② ジャスパーではトラムウェイでウイスラーズ山に上り、新雪に輝く周囲の山々を一望するとともに、ジャスパーの市街を見渡しました。
市内散策し駅舎で休憩していたら、週一便運行のロッキー・マウンティナア号が入構してきたので、駅前に保存している機関車と一緒に写真を撮った。
駅窓口で、ロッキー・マウンティナアのパンフレットを手に入れた。
- ③ バンプでは、アッパー・ホットスプリングスに入り、旅の疲れを癒した後、町並みを少し下って、ボウ滝を見物した。近くにフェアモント・バンフスプリングスがあり、まるで古城のように建っていた。
市内を散策した後、サブウェーでハンバーガーなど注文して昼食にした。
細かい注文に戸惑ったが、マクドナルドに対抗してか？以外に安かった。
- ④ ウイスラーは当初予定に入っていなかったが、途中で日程を短縮できたので、2010年に冬季オリンピックを開催するウイスラーを訪問することにした。
ここは大都市バンクーバーから2時間程度と近く、観光客も多いので設備が充実していて、現在もオリンピックに向けて改装中で、ロッキーの観光地に比べて格段に優れていた。

ゴンドラでウイスラー山に上ると、街並みの赤茶色の屋根や、ブラッコム山の山麓に広がるスキーゲレンデの緑色、グリーン湖の青色などが眼下に広がっていた。またリフトで乗り継いで山頂まで行くと、氷河で白銀に輝く山々が、一望のもとに見回すことができた。その中をハーモニー・リッジコースでハイキングして、途中のゴンドラ駅まで歩いた。

ここはマウンテンバイクの施設が充実していて、若者たちがバイクをリフトに乗せて山頂に上り、勢いよくダウンヒルするのが見られた。

5. 車、道路、RVパーク

- 1) 車・・・今回始めてモーターホーム(日本ではキャンピングカーという)を利用したが、こちらに来てその種類の多さと大きさに驚いた。大きい物では大型バスやコンボイ並みのものもあり、後ろに小さな日本車を牽引して熟年夫婦が走り回っているのに、至る所で出会った。

車内は見られなかったが、恐らくお気に入りの家具や設備を配置し、行く先々で何日も滞在して旅を続ける事は、経済性を別として(私には一番重要だが)、機能性を追求した旅の姿として、完成されているように思えた。

我々が利用したC-25は、4トントラック程度の寸法で、普通車しか運転経験の無い人には、少し緊張を強いられるものである。
また、この車両には生活用設備が設置されていて、使用法はマニュアルで習得する必要があるが、以下にその問題点等を記す。

- ① 燃料補給は余裕をもって実施しないと、今回のようにスタンドとの間隔が 100km 以上離れている場合は、メーターの半分で補給する必要がある。
- ② 電気は一般のRVでは110Vの電気が供給されるが、キャンプ場のように電気の無い場合は、大変不便となる。(今回は発電機が付いていなかったため)
- ③ 給水は飲料水用とし、RVで供給されるが、キャンプ場等で給水の無い場合は、事前に給水タンクを満タンにしておく必要がある。(200L程度)
なお、給水タンクは加温することにより、シャワーや温水洗浄等に使用できる。
(シャワー中に、温度低下や温水不足で、冷シャワーの体験あり)
- ④ 排水には洗浄排水(グレー)と、トイレ排水(ブラック)があり、それぞれタンクに貯めて排水するが、順番は先ずブラックを流し、グレーで洗い流すこと。
なお、排水パイプとピットの間は傾斜を付けて、流れやすいように設置する。
- ⑤ 冷蔵庫は 100V とプロパンで自動制御されているようだが、電気の無いキャンプ場では作動しなかった。また、水平設置の精度もあまり必要なかった。
- ⑥ RVを利用すると、シャワーとトイレが無料で使用できたので、最初の数日を除き車内のシャワーは狭くて、温度管理がややこしいので、使用しなかった。

- ⑦ 車内は案外狭く、居室から運転席に移る際に仕切り壁に頭を打ち付けるので、充分注意が必要である。我々は4人とも被害に合い、最初は笑って済ませたが私などは3mも飛ばされ前頭部にキズが残った。
途中から注意標識を貼付けたら、誰も頭を打たなくなった。

2) 道路・・・道路に関連したことで気づいた事を、以下に述べる。

- ① ハイウェイは全般に地盤が堅固に造られていて、舗装・砂利道に係わらず、安定して走行することができた。また道幅も広く、坂道やカーブもある程度のスピードでも走りやすく、快適なドライブを楽しむことができた。
(日本の高速道路に応用されているクロソイド曲線と同じように感じた)
個々のハイウェイについては、旅日誌の中で気付いた事を記述しました。
- ② 道路工事は至る所で行われていたが、砕石や砂は現地で調達し、路肩の補強ブロックも統一化されたものを使用し、現場での作業は大型機械で処理するという、合理的で経済的な工法に思われた。
日本の道路工事は地域振興的な配慮が大きいですが、こちらは合理性が重要視されているようだ。
- ③ 交通規制も最小限の資材(人力)で処理しており、STOP/SLOW のポール操作、赤旗2本による作業予告、パイロットカーの先導による通行等には、その合理性に驚きさえ覚えた。
- ④ 都市部を除くアラスカと、カナダ・ユーコン州、BC州北西部では、道路サービス(ガススタンド、カフェ等)は100~200km間隔でしかないので、燃料をはじめ、食料・飲物等は余裕をもって補給しておく必要がある。イライラ運転・あせり運転は安全運転の障害となります。

3) RV・・・利用したRVパークを比較・評価してみた。(私見)

別紙に一覧表として作成した。

RVパークの自己採点

月/日	地名	RV名	環境	受付	料金	電気	給水	排水	トイレ	シャワ	洗濯	ネット	総合	備考
8/21	Vancouver	Capilano RV	B	B	50.4	○	○	○	○	○	-	○	B	
8/25	Haines	Oceanside RV	C	A	33.0	○	○	○	○	-	-	X	B	ヒゲおやじ
8/26	Burwash Landing	Burwash Landing RV	C	B	23.5	○	○	○	X	○	○	X	C	ホテル併設
8/27	Tok	Tok RV	A	A	47.0	○	○	○	○	○	○	△	A	女系3代
8/28	Valdez	Eagle's Rest RV	C	B	36.0	○	○	○	○	○	○	X	C	イクラのおまけ
8/30	Matanuska	Grand View RV	B	B	32.5	○	○	○	○	○	○	X	B	ダールシーク
9/1	Riley Creek	Denali Rainbow RV	C	C	42.8	○	○	○	○	○	○	○	C	商店街の裏
9/3	Chena Hot Springs	Lodge	A									○	B	温泉、オーロラ
9/4	Tok	Tok RV	A	B	47.0	○	○	○	○	○	○	○	A	
9/5	Stewart Crossing	Stewart Crossing RV	B	B	25.0	○	○	○	X	○	○	X	B	オーロラ
9/6	Watson Lake	Down town RV	B	B	28.6	○	○	○	○	○	○	X	B	湖の側
9/7	Dease Lake	Dease Lake RV	B	B	25.0	○	○	○	○	○	○	X	B	
9/8	Kitwanga	Cassiar RV	A	A	36.5	○	○	○	○	○	○	○	A	雪山と庭園
9/9	Prince Geoge	Biue Spruce RV	B	B	32.6	○	○	○	○	○	○	X	B	場所が分かりにくい
9/10	Jasper	Jasper Nat'l Park Camp	A	B	35.0	X	X	X	○	○	○	○	B	公園内のキャンプ場
9/11	Lake Louise	Lake Louise Nat'l Park Camp	A	B	32.3	○	○	○	○	○	○	○	B	公園内のキャンプ場
9/13	Kamloops	Kamloops RV	C	B	35.0	○	○	○	○	○	○	X	C	長期滞在型
9/14	Whistler	Whistler Riverside RV	A	A	68.0	○	○	○	○	○	○	○	A	環境良好、市街近い
9/16	Vancouver	Capilano RV	B	B	50.4	○	○	○	○	○	○	○	B	

採点（A：良、B：可、C：不可）、設備（○：良、△：不可、X：無、-：不使用）

6. 食事、食材、

- 1) 自炊生活・・・モーターホームでの生活が1ヵ月間の長期になるので、食事は米飯を主食とするため炊飯器を持参した。また副食は各自の好みに合わせて、数種の材料を組合せて調理することとした。結果として全員が体調を維持し、無事帰国することができた。

使用した食材は、以下のもの

- * 主食 : カリフォルニア米、パン類、
- * 肉類 : 牛肉、ソーセージ、ベーコン、ハンバーガー、玉子、など
- * 魚類 : スモークサーモン、イクラ(手づくり)、ハリバット、など
- * 野菜 : じゃがいも、玉ねぎ、にんじん、豆腐、など
- * 果物 : 青ぶどう、バナナ、
- * 缶詰 : いわし、マグロ、牛肉煮込み、スープ類など
- * 乾物 : 即席味噌汁、スープ、カップヌードル、など
- * 飲物 : お茶、牛乳、ワイン、ウイスキー、酒

- 2) 外食・・・レストラン等で食べたもの

- ① サーモンステーキ(サーモンハウス・オンザヒル、他)
- ② ビーフステーキ(一部の人のみ)
- ③ スライスハム、シーフード(コロンビア号)、
- ④ ハンバーガーとポテトフライとスープ又はサラダ(昼食として常食)
- ⑤ ピザ
- ⑥ 中華タンメン、マーボトーフ、

ふり返ってみて、案外質素な食事をしていたのだな、という気がしています。レストランに入っても肉よりは、シーフードを注文する方が多く、ボリュームも食べ切れないで、ドギーバックで持ち帰ることが多かった。

現地の人々の大きな体格と比べると、小さな我々が同じものを食べていたら、メタボに直行するのは間違いなさそうなので、本能的に気付いてセーブしたのだろうかと思っています。(本能はまだ健在であった！)

7. 人さまざま

1) 先ずこの旅の参加メンバーについて、簡単に紹介します。

N氏 : 年令76歳 この旅の発案者の一人、
海外渡航の経験豊富で日常の英会話は普通程度に話せる。
化学工学専門(石化プラントの建設・運転の管理者)、環境管理等
大学山岳部の経験を今に引継ぐ(登山歴60年)。

T氏 : 年令65歳 この旅の企画に賛同・参加
石化プラントの運転経歴、ISO管理・環境管理者資格
会社山岳部の経験(登山歴45年)

K氏 : 年令65歳 この旅の企画に賛同・参加
石化プラントの運転経歴、現在土建業を経営

Y氏 : 年令69歳(筆者自身) この旅の発案者兼企画者
石化プラントの品質管理、研究管理経歴、現在物流会社・営業顧問
会社山岳部の経験(登山歴50年)

2) この旅で出会った人々について、感想を述べます。

① アラスカ・カナダに7週間滞在するおじさん……

乗船の時、すぐ後ろの車がハインズ行くようなので、乗船してから甲板で
出会ってドライブコースの話などしたら、同じようなコースを7週間近くかけて
回るとのことなので、何処かでまたお会いしましょうと言ってお別れした。

② ハインズ・オーシャンサイドRVのオーナー……

私の名前で予約をしていたので、片言英語で交渉していたら、日本に行っ
た経験があることが分り、親切に対応してくれ一緒に写真を撮りました。
その後受付の電話を借りて在米の知人に連絡しようと、いろいろ協力しても
らったが、うまくつながらなかった。

翌日出発前に受付へ行ったが不在で、お礼を言わずに出発した。

③ トクRVの女系三代のオーナー……

最初に受付にいたのは70前後のお祖母さんで、私が無線LANをしたいのでどうしたらよいか・・・という質問に、いろいろ探してメモ書きを一枚くれた。彼女はLANのことは余り分からず、私は英語が余り分からず、珍問答？が続き、最後に奥からLANケーブルを持ってきてこれを使えと貸してくれた。

その後いろいろあって、ケーブルを返しに行ったら、中学生位の孫娘が座っていて、お祖母さんのことやケーブルを返すことを伝えたが、その気が無いのか(私の英語がダメなのか)一向に通じず、翌日返す事にした。

一週間後に再び宿泊することになり受付に行くと、40代の母親が座っていて、お祖母さんはおりませんか・と聞いても知らないという返事がかえってきた。しばらくして再度受付に行くと、お祖母さんが座っていて、私の顔を見てすぐ分かってくれた。そして例のケーブルを借りてつなげたら、簡単に接続できた。その後またいろいろとありました。

トクRVの受付では、男性の姿を見ることはありませんでした

④ トクRVで携帯電話をお借りしたご夫婦……

こちらに着いてから一週間になるが、まだ在米のS氏に連絡をしていなかったのので、受付でLANケーブルを借り、サービス棟に行きメールで連絡しようとしたが、何度しても接続できず、また近くの電話も通信状態が悪く困っていた。

たまたま先客でご夫婦がおり、盛んにメールや携帯で連絡をされていたが、私は英語が分かりませんので・・・ノープログラム・・・と伝えたら、笑って連絡を続けていました。

終わった後で、私が連絡できなくて困っていることを伝えたら、ご主人がいろいろ試してくれたが全て接続ができなかった。そこで奥さんがご主人に携帯で連絡してあげたらといってくれ、S氏の電話番号を示して連絡をさせてもらいました。後で聞くと奥さんは以前日本に行ったことがあると知りました。大変助かりました。

後日、バルディーズ・イーグルレストRVで再会し、その時のお礼にお守り(*)をプレゼントしましたら、奥さんが大変喜んでくれました。

(出発前に伊勢神宮にお参りし、お守りと英文のしおりを貰ってきた。)

⑤ バルディーズRVでイクラをくれたドイツ人ご夫妻……

バルディーズは丁度秋鮭の時期にあり、各地から釣り人が沢山集まってきた、このRVにもボートを牽引した車を多く見ました。釣った鮭はRV内で調理場で専門の人が手早く捌き、身だけを取って内臓や骨は砕いて廃棄していました。

たまたま近くに駐車していたドイツ人が、我々が日本人だと知り話しかけてきた。彼は日本の大学でも教鞭をとった学者で、日本ではイクラを食べることをよく知っていて、調理場に行きイクラを貰ってくれた。

早速お礼の気持ちでお守り(*)をプレゼントしたら、奥さんが中を開け、綿のようなもの(私も見たことがない)を見て、不思議そうに眺めていた。

⑥ マタヌスク氷河ツアーのガイド嬢と仲間たち……

出足が手違いから始まったので、ツアー会社に着いた時は他のグループは出発の準備をしていた。早速スタッフが我々3名を小屋へ連れて行き、靴やクレポンなどを合わせてくれた。(K氏は小屋で待機)

女性スタッフが私の足を膝にのせ、靴にクレポンを合わせてくれたので、日本では女性の膝を枕に寝るのが男の夢だ…と言ったら、笑っていた。

(私の片言英語が通じたのかな?…)

準備が済んだので我々のグループが集まったら、例の女性がガイドで、他にアメリカ人の男女(恋人同士か)と、カナダ人の女性で7名となった。

使い古したワゴン車で氷河の端まで行き、はじめにクレポンの使い方を教えてもらい、一列になって氷河の上を歩き始めた。我々は全員雪山の経験もあるが、ガイド嬢の踏み跡を神妙にトレースし、ユーアーグッドとお褒めいただいた。

2時間程歩いて氷の壁に着き、小さな氷河湖の前で記念写真を撮って、引き返した。案の定ワゴン車のエンジンが掛からず、救援車に迎えに来てもらって無事小屋に戻れた。帰ってからガイド嬢とお別れのハグをしたが、余りの大きさに窒息しそうになった。(T氏もおこぼれを頂戴した!)

数日後、デナリ公園のチケットセンターで、偶然アメリカ人男女に出会い、ハイイ!…と大声で挨拶を交わし、再会を喜んだ。

⑦ クサン歴史村でのネパール人青年……

ヘイゼルトン近郊のクサン歴史村には、先住民の住居跡(ログハウス等)や、トーテムポールが展示してあり、展示館には民芸品の展示や即売所があった。

館内を見物していたら東洋人風の人から、突然流暢な日本語で話しかけられ、以前に名古屋大学に留学経験のあるネパール人でした。N氏とヒマラヤ登山の話などした後で、なぜここに居られるのかと聞いてみたら、親族がこの歴史村で働いていることが分かった。

ネパールからこんな遠方の先住民村に働きに来るには、何かの縁があるのでしょうかと話し、お互いのモンゴロイドの血が呼ぶのだろうか、お互いに納得し合った。

V. おわりに

今日で旅行から帰って一週間程が過ぎ、やっと体調が安定してきたので、9月末に会社からの健康診断を受けると、体重が少し減り、血圧が少し高くなっていました。この1ヵ月の体験だけで、体調を悪くした訳ではありませんが、古希になった我が心身のバランスを崩したことは確かなようです。

今回の旅行では、写真を1000枚程度、ビデオを3時間程度撮影しました。天気が良かったので昼間の写真はそれなりに撮れたのですが、夜間のオーロラの映像だけは、残念ながら撮ることはできませんでした。約30分間の夜空の光の競演を見ることができ、瞼の裏に焼き付けておきました。ビデオの中には、オスのムースがシャトルバスの前を悠然と歩く姿や、突然画面にはいつてくれたザトウクジラなど、楽しい映像を残すことができました。

また、携帯パソコンを持参し、グーグル・メールのアドレスを取得して、家族や知人と連絡を取っていました。しかし、無線LANの入らないRVが多く、たまたま写したプールの写真を送信したら、グーグルのチェック(?)に抵触して、一週間程度メールの発信が停止されたこともありました。これも良い経験となりました。

ところで、今回の旅行を総括すると、私にとっては“40数年前からの夢を実現する”という気持ちが大きかったと思います。今の世の中はお金さえ出せば、ツアー会社の旅行に参加して、気軽に世界中を旅することはできますが、70歳近い4人が集まって、自分達で計画・立案し、アラスカ・カナダの大平原・8000kmの道を、モーターホームで1ヵ月間走り通したことは、やはり”夢の実現“への強い思いがあったからでした。

しかし、4人が必ずしも同じ思いではなく、それぞれの人生体験・生活感覚の違いもあって、同じ屋根の同じベットでの生活では、一口では表せない軋轢がありました。それでも4人揃って無事に帰国できたことは、人間この歳になっても、少しは成長するものだと感じました。

「青春とは、心の若さである」という有名な言葉がありますが、これからも「青春」を楽しみたいと思っています。

最後に、この旅の実現にご支援をいただいた在米のS氏、トラベルデポ社、並びに我々の旅を温かく見守って頂いた、家族の皆さんに心より感謝いたします。

完

VI. 資料集

1. 準備した資料

1) ガイドブック類

- ① 地球の歩き方 カナダ西部 '08～'09
- ② 地球の歩き方 アラスカ '07～'08
- ③ まっぷるマガジン2008 カナダ カナディアン・ロッキー
- ④ トラベルデポ社 モータホームの使い方、アメリカの交通ルール等
- ⑤

2) 地図類

- ① BAND McNALLY British Columbia , Aluberta
- ② BAND McNALLY Alaska
- ③ Mapart Publishing Canada

3) 準備した資料

- ① 日程表
- ② RV連絡表、関係先連絡表
- ③ スケジュール詳細表(現地では、この表により行動)
- ④ ナビマップ表(詳細表に合わせて、毎日のナビマップを作成)

4) インターネット検索

- ① アラスカ観光協会 <http://www.alaskajapan.com/>
- ② ブリティッシュコロンビア州観光局 <http://www.hellobc.jp/>
- ③ アルバータ州観光公社 wcs.ne.jp/
- ④ ナビマップ maps.google.co.jp/map?
- ⑤ RV調査 campgrounds.com
- ⑥ RV調査 koakampgraunds.com/where
- ⑦ RV調査 rvparkreview.com
- ⑧ モータホーム調査 motorhome.net
- ⑨ 各種旅行記 google 検索
- ⑩

2. 入手した資料

1) パンフレット、フリーマガジン類

- ① Alaska Marine Highway 2008 Official Summer Schedule
- ② Valdez Valdez Vacation Guide 2008
- ③ FAIRBANKS Visitors Guide 2008
- ④ Parks Canada Mountain Guide 2008/2009
- ⑤ ROCKY MOUNTAINEER 2008
- ⑥ Bell's ALASKA HIGHWAY 2008 MAPBOOK
- ⑦ Bell's ALASKA 2008 MAPBOOK
- ⑧ ALASKA'S NATIONAL PARKS
- ⑨ DAWSON CITY 2008
- ⑩ WHITE HORSE 2008
- ⑪ WATSON LARK 2008
- ⑫ Prince William Sound Valdez Alaska
- ⑬ Columbia Icefield

2) マップ類

- ① Alaska! Official state map 2007
- ② SE Alaska's Inside Passage map & guide (2)
- ③ British Columbia map & guide
- ④ CANADA British Columbia Town Map
- ⑤ BANFF MAPS
- ⑥ Welcome to Whistler Village & Valley Map
- ⑦ WHISTLER Mountain Bike Park Map 2008
- ⑧ Wrangell-St. Elias visitors map
- ⑨ The Glenn Highway National Scenic Byway visitors map
- ⑩ Tourism Vancouver's Official Map

3) RVパーク資料

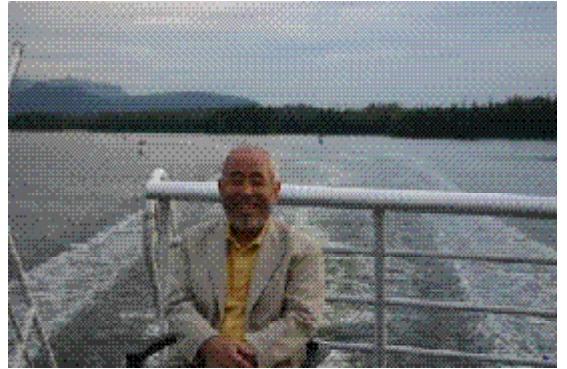
- ① Capilano RV Park
- ② Burwash Landing RV Park
- ③ TOK RV Village
- ④ Eagle's Rest RV Park
- ⑤ Grand View RV Park
- ⑥ Denali Rainbow RV Park
- ⑦ Chena Hotsprings Resort

- ⑧ Downtown RV Park
- ⑨ Cassiar RV Park
- ⑩ Blue Spruce RV Park
- ⑪ Jasper Nat'l Park Whistlers Campground
- ⑫ Lake Louise Campground
- ⑬ Whistler's Riverside RV Resort
- ⑭

アラスカ・カナダ ドライブ旅行 写真集



8/21 モーターホーム借用



8/24 インサイドパッセージ ご満悦



8/24 船上レストランで乾杯



8/25 ハインズ港 トーテムポールと豪華客船



8/25 ハインズRVのオーナーとツーショット



8/29 バルディーズ市内の巨大な木像



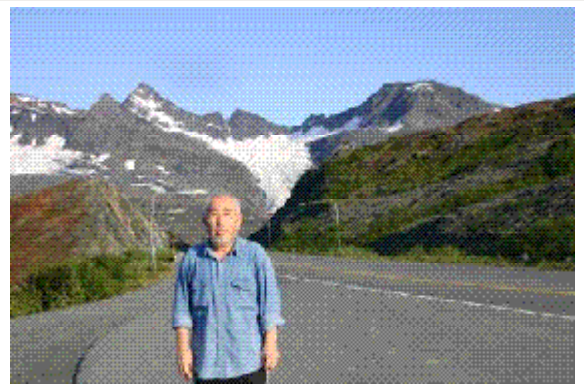
8/29 ウィリアムズ湾のシャチ発見



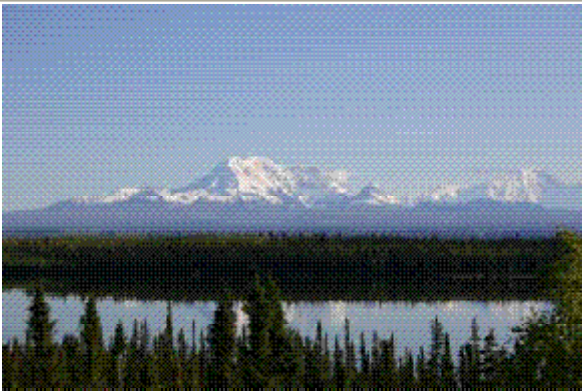
8/29 コロンビア氷河の流水



8/29 コロンビア氷河



8/30 シンプソン峠からワーシントン氷河



8/30 リチャードソンHWYからドラム山



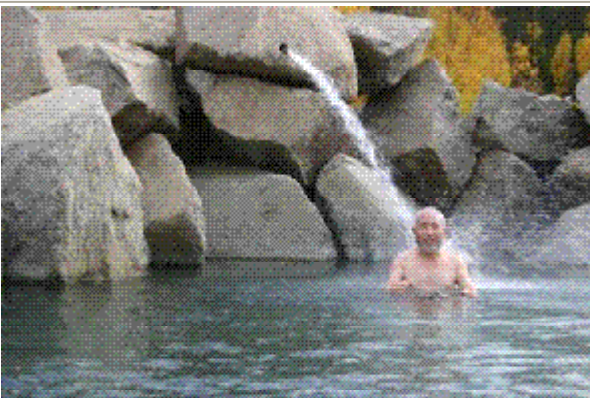
8/31 マタヌスク氷河ハイキングにて



9/2 デナリ公園 マッキンリー遠望



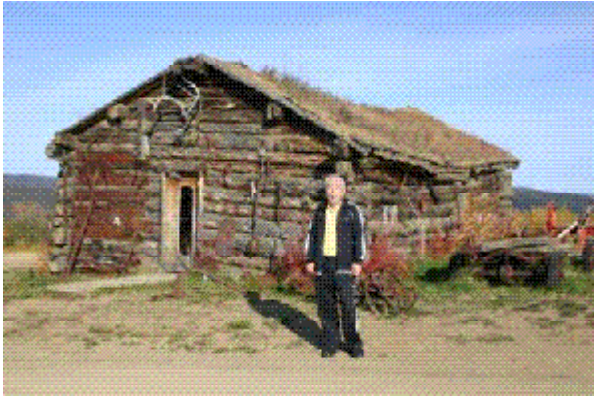
9/2 アイレンセンターからマッキンリー山



9/3 チナ温泉の打たせ湯



9/4 延々と続く直線道路



9/5 トップオブザ・ワールドHWYの廃屋



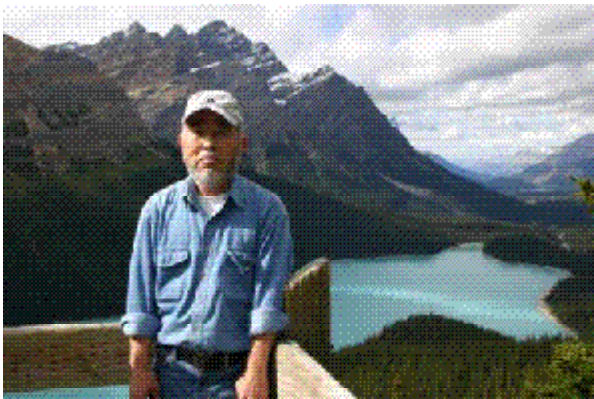
9/6 ワトソンレークのサインポストの森



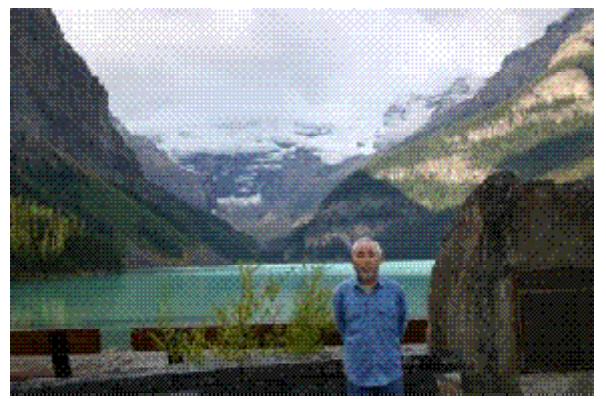
9/11 コロンビア大氷原の入口



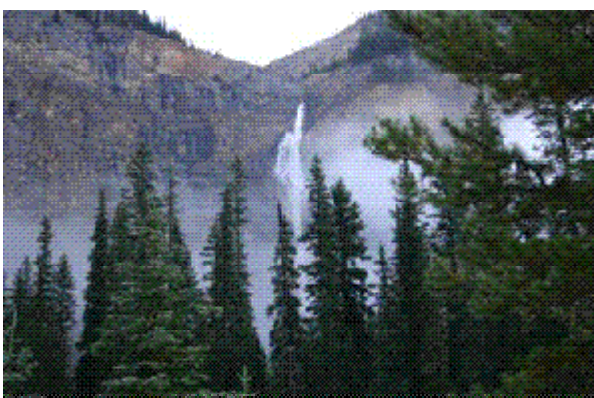
9/11 氷河ツアーの雪上車



9/11 ボウ峠からペイトー湖



9/12 ロッキーの宝石 ルイズ湖



9/13 タカカウの滝



9/15 ウィスラー山頂ハイキング

